



「アンハード・ミュージック」は……

ロック・グループX  
ロサンゼルスミュージック・シーン  
アンダーグラウンドの生活  
ミュージック・ビジネス  
'80年代のアメリカン・カルチャー  
人生の芸術への転化(およびその逆)  
を主題とする約90分の映画作品。

この作品はひとつのバンドの記録にとどまらず、新しいアメリカン・ミュージックの温床であるLAアンダーグラウンド・ミュージック・シーン全体を検証したものだ。さらに、ミュージック・ビジネスの実態もあからさまに暴いている。たとえば、自分は新しいアイデアを受け入れることには積極的だと主張するレコード会社やラジオ局の幹部職員が登場する。しかし結局彼らはそれを実行しない。その上さらに、「アンハード・ミュージック」つまり「未だ聴かざる音楽」が音とイメージの洪水で紹介される。それらの音楽は滅多に評価を下されることのない、我々の日常の背後にあるものをはっきり示してくれる。



# THE UNHEARD MUSIC

アンハード ミュージック

the band X

## ●解説&ストーリー

目のくらむ映像と激しくたたきつけるようなビート…このスピード感に満ちたエキセントリック・ムービーは、観る者の気分をハイにしてくれる。

この映画は、ロックンロール・バンドX(エックス)のライブ・フィルム、インタビュー、ドキュメント・フィルム、コマーシャル、過去の映画等をミックスして、Xのメンバーの注目すべき横顔を鮮やかに伝えている。

しかし、この作品は、単なるドキュメンタリーでもなければ、1バンドの単純な出世物語というわけでもない。音楽と知性を完全に融合させ、熱狂的なエネルギーを発散する、生まれるべくして生まれた映画である。ベースは荒けずりで機関銃のようにたたみかけてくるが、だからといってこの映画の本質も同じだというわけではない。監督・脚本のW・T・モーガンをはじめとする製作陣の知性とウィットは相当なものである。彼らは、このロックバンドとその音楽を現代文化の一部としてとらえ、ニカラグアからレコード業界、フォード社のエドセルの発表に至る、ありとあらゆる現象を引き合いにして、Xの数々のナンバーと縦横無尽に照応させる。

この映画には、カテゴリーもレッテルも必要ない。むしろ、観る人、ひとり一人のイマジネーションによって何色にでも変化する、カメレオンのような不思議なパワーを秘めており、言葉では言い表せない何かが我々の感性をくすぐるのだ。

- 監督: W・T・モーガン
- プロデューサー: クリストファー・ブラクリー
- 脚本: W・T・モーガン
- 撮影: キャラム・ジョン・マンズール
- 音楽: X(エックス)
- 出演: ジョン・ドー

エクジーン・サーベンカ

ビル・スーム

D・J・ポーンブレイク

 DOLBY SURROUND™

'87U.S. FILM FESTIVAL IN TOKYO参加作品

## THE UNHEARD MUSIC

アンハード ミュージック

2/6 SAT ~ 3/4 FRI: 独占ロードショー

●特別鑑賞券<前売好評発売中>¥1,100 ●当日窓口券¥1,300

都内各プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾン他

吉祥寺 **ジャヴ50**

TEL.0422・22・6631

12:20 2:00 3:40 5:20 7:00